

動画の再生／結合保存ソフトウェア

EOS MOVIE Utility for EOS-1D C

Ver.1.1

使用説明書

● 本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS MOVIE Utility for EOS-1D C を EMU と表記しています。
- ► の手順は、メニューの選択順序を示しています。
(例：メニューの【ファイル】 ► 【終了】を選ぶ)
- [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- < > 内の語句は、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
また、クリックすると参照ページが表示されます。
-  : 注意事項です。
-  : 補足説明です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
 : 次ページ
 : 前ページ
 : ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された見出しをクリックすると、見出しのページが表示されます。また、目次ページの読みたい項目をクリックすると、そのページが表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

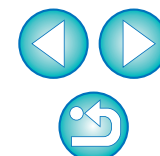
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



はじめに

EOS MOVIE Utility for EOS-1D C (以降 EMU と表記) は、CINEMA EOS カメラ EOS-1D C で撮影した動画の再生・結合保存を行うためのソフトウェアです。

● EMU でできること

EMU は、EOS-1D C で撮影した動画ファイルをスムーズに再生することができます。また、Canon Log ガンマで撮影した動画にビューアシストを設定して再生することもできます。その他、録画時に 4GB ごとに分割された動画ファイルの連続再生や結合保存、静止画の取り出しなども可能です。

● Canon Log ガンマとは？

広いダイナミックレンジにより、暗部からハイライトまで豊かな階調表現を実現する機能です。CMOS センサーの高い実力を、余すことなく引き出します。

● クリップとは？

1 回の撮影操作で記録される動画のことをクリップといいます。

- 当ソフトウェアでは、EOS-1D C 以外のカメラで撮影した動画を再生することはできません。
- メモリーカードのアクセス中に、メモリーカードをカードリーダーから抜かないでください。

動作環境

OS (オペレーティングシステム)	Mac OSX 10.7 Mac OSX 10.8
機種	上記の日本語版 OS がプリインストールされている Macintosh
RAM (メモリー)	4GB 以上

- 当ソフトウェアで 4K 動画を扱うときには、CF カードと CF カードリーダーについて、以下の性能をもつ製品のご使用をおすすめします。
 - ・ CF カード：UDMA7 対応、書き込み／読み取りの実効速度 100MB / 秒以上
 - ・ CF カードリーダー：USB3.0 接続で UDMA7 対応の読み取り実効速度 100MB / 秒以上CF カードと CF カードリーダーの動作確認情報については弊社ホームページなどをご確認ください。
- 最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

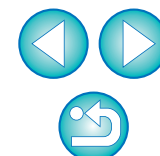
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



目 次

はじめに	2
動作環境	2
ソフトウェアのインストール	4
EMU を立ち上げる	4
基本画面	5
メイン画面	5
クリップを再生する	6
クリップの再生	6
再生時の操作	7
音量を調節する	8
再生速度を変更する	8
再生位置を移動する	8
Canon Log ガンマを [入] で撮影した動画を再生する ..	9
フルスクリーンで再生する	9
キーボード操作	9
動画の表示サイズを切り替える	10
動画ファイルの情報を確認する	11
静止画として保存する	12
静止画の保存設定	12
静止画保存時の操作	14
静止画の 1 枚保存	14
複数静止画保存	15

動画ファイルを結合保存する	17
クリップを構成する動画ファイルを確認する	17
分割された動画ファイルを結合保存する	18
フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合 保存する	18
1 クリップのみの分割された動画ファイルを結合保存 する	20
EMU を終了する	21
資 料	21
こんなときは	21
エラーメッセージ	22
キーボードコントロール	23
ソフトウェアを削除する（アンインストール）	24
この使用説明書について	25
登録商標について	25
製品取り扱い方法に関するご相談窓口	25
CINEMA EOS SYSTEM サイトのご案内	25

はじめに

目 次

準 備

基本画面

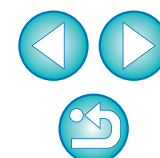
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



ソフトウェアのインストール

⚠ ソフトウェアのインストール時には、パソコンの管理者権限が必要です。

- 1 キヤノンのホームページからダウンロードした EMU の圧縮ファイル（.gz 形式）をダブルクリックして解凍する
- 2 解凍したファイル “emum-1-1-0-0-9l.dmg” をダブルクリックする
→ ディスクイメージ “emum110” がマウントされます。
- 3 ディスクイメージ “emum110” をダブルクリックし、表示されたファイル内の “EMUInstaller” をダブルクリックする
- 4 画面の指示に従ってインストールを行う

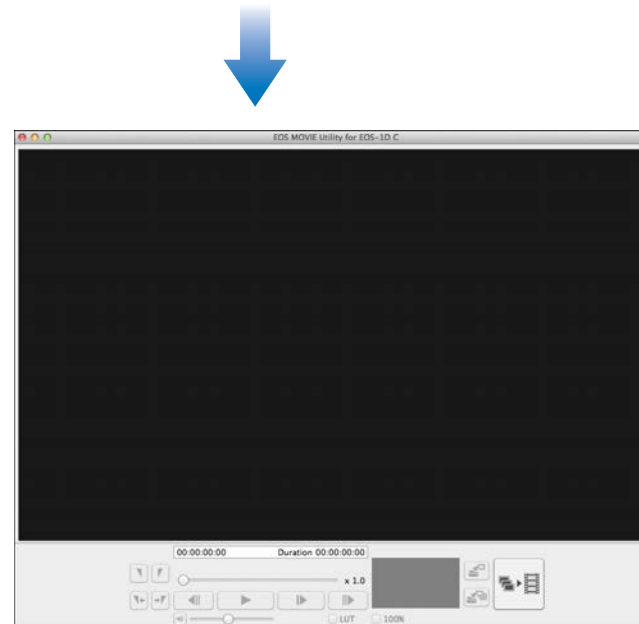
EMU を立ち上げる

Dock 内にあるショートカットをクリックする



クリック

→ 立ち上がるとメイン画面が表示されます。



📌 EMU を複数同時に起動することはできません。

はじめに

目次

準備

基本画面

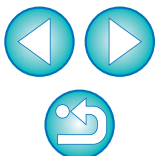
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



基本画面

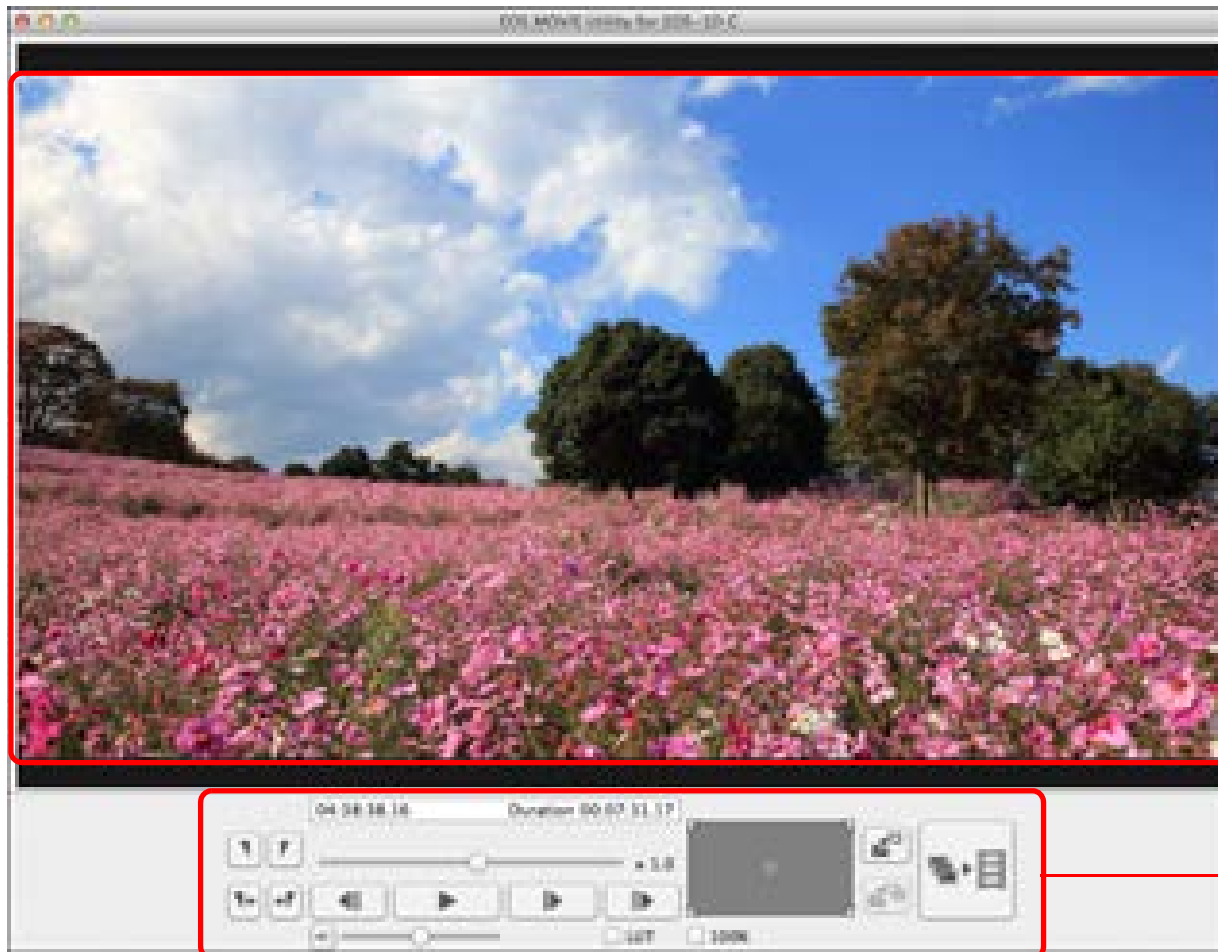
メイン画面

クリップの表示や、再生・停止などの操作を行うことができます。



メニュー

各種機能を実行するメニューです。



プレビューエリア

再生するクリップが表示されます。

コントロールエリア

再生操作を行います。

はじめに

目次

準備

基本画面

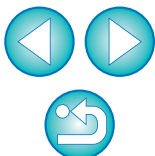
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



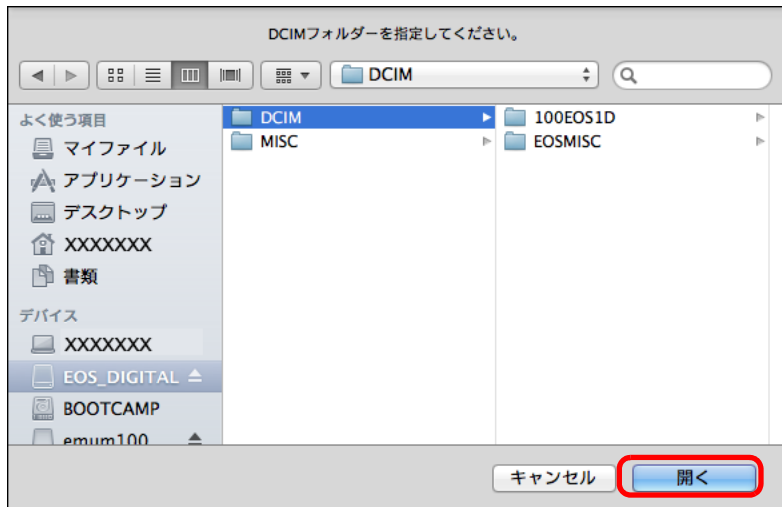
クリップを再生する

クリップの再生方法を説明します。

メモリーカード内のクリップが保存されたフォルダは、あらかじめ、カードリーダーを使用してパソコンにコピーしておくことをおすすめします。

クリップの再生

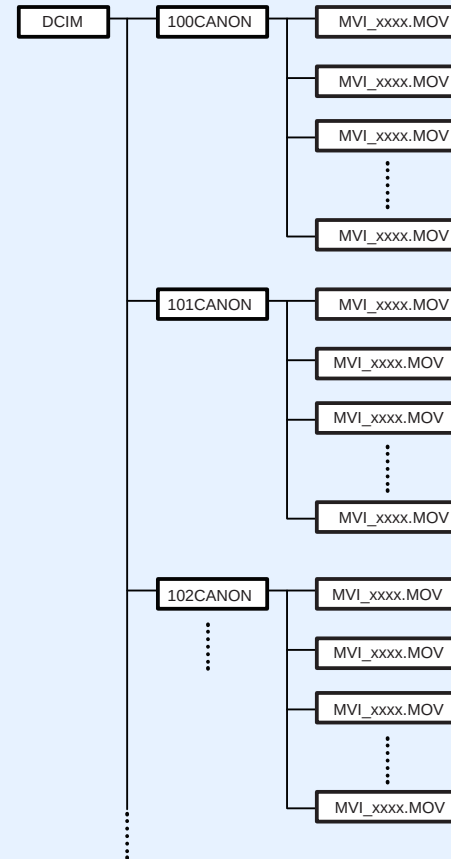
- 1 メイン画面でメニューの【ファイル】 ▶ 【開く ...】を選ぶ
→ フォルダを選択する画面が表示されます。
- 2 再生するクリップが保存されたフォルダを選択した後、【開く】ボタンを押す



→ 【クリップリスト】画面が表示されます。

- メモリーカードをカードリーダーに挿入の上、パソコンに接続して、メモリーカード内のフォルダを直接選択することもできます。
- カメラ本体をパソコンに接続して、カメラのメモリーカード内のフォルダを直接選択することはできません。

! カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。



当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、クリップが正しく再生ができない場合があります。クリップを再生する場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIM フォルダを選択してください。なお、このフォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が【DCIM】と異なる名称に変更されていると、正しく再生ができない場合がありますのでご注意ください。

はじめに

目次

準備

基本画面

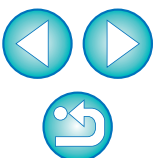
再生

ファイル情報
確認

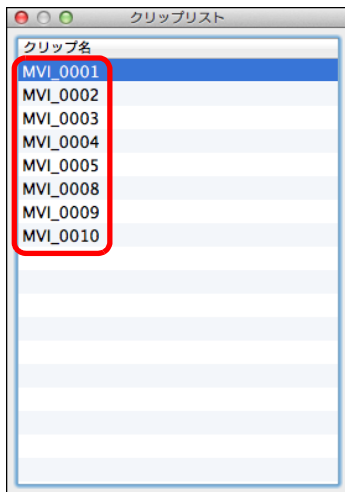
保存

終了

資料



3 【クリップリスト】画面で再生するクリップを選ぶ



→ クリップの画像がメイン画面に表示されます。

4 メイン画面で【▶】ボタンをクリックする

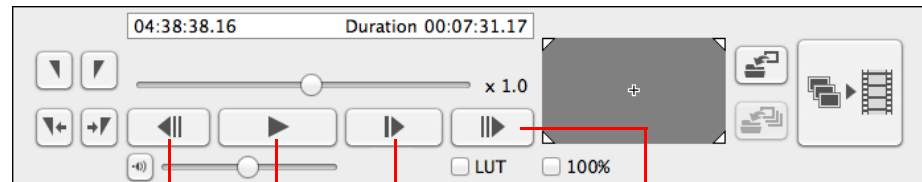


→ クリップが再生されます。

- 再生時の操作については、当ページ右の「再生時の操作」および、[p.8](#)～[p.10](#)「音量を調節する」～「動画の表示サイズを切り替える」を参照してください。

再生時の操作

再生時は、各種ボタンで下記の操作ができます。



コマ戻し 再生/停止 再生速度を調整 コマ送り



- 【クリップリスト】画面では、〈↑〉〈↓〉キー、またはマウスのクリックで選ぶクリップを切り替えることができます。
- 【クリップリスト】画面のクリップ名をダブルクリックしても、クリップを再生できます。
- 【クリップリスト】画面を閉じて、リストの内容は保持されます。
【表示】メニューから【クリップリスト】を選ぶと、再度【クリップリスト】が表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

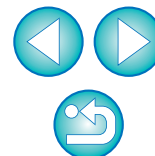
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

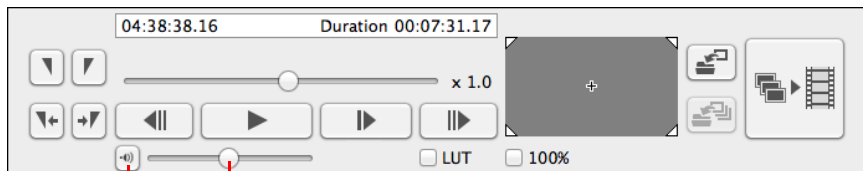
資料



音量を調節する

音量スライダーで、再生時の音量を調整できます。

音量スライダーを左右にドラッグする



音量スライダー

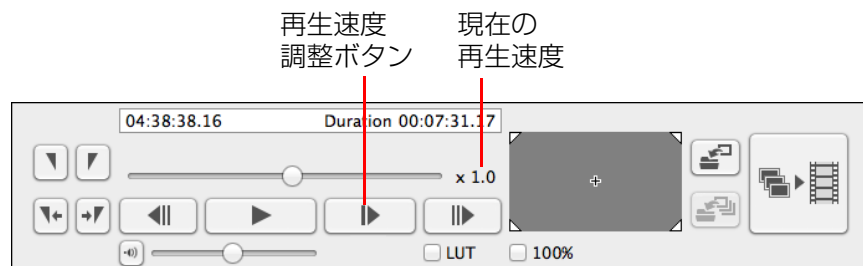
ミュートボタン

- 音声を一時的に消したいときは、[] (ミュート) ボタンをクリックします。

再生速度を変更する

動画の再生速度を変更することができます。

動画を再生中に [] ボタンを押す



再生速度
調整ボタン

現在の
再生速度

- [] ボタンを押すたびに、下記のように再生速度が変更されます。

クリップの フレームレート	再生速度	再生速度変更後の フレームレート
59.94p	x1.0	59.94p
	x0.5	29.97p
	x0.4	23.98p
50p	x1.0	50p
	x0.5	25p
上記以外 *	x1.0	クリップのフレームレート

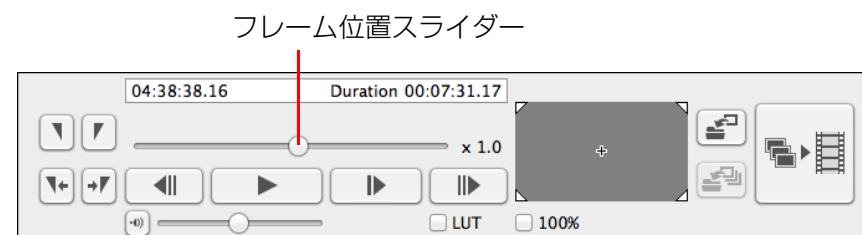
* 再生速度調整ボタンは操作できません。

-  スロー再生中（再生速度が「x0.5」または「x0.4」のとき）は、音声は再生されません。

再生位置を移動する

フレーム位置スライダーで、再生位置を移動することができます。

再生中または停止中に、フレーム位置スライダーを左右にドラッグする



はじめに

目次

準備

基本画面

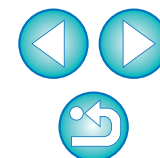
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

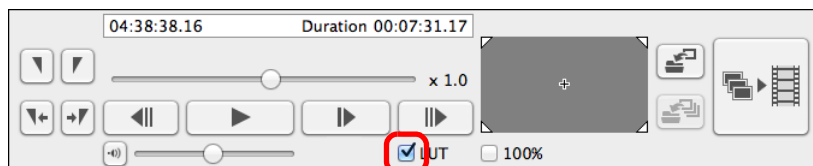
資料



Canon Log ガンマを【入】で撮影した動画を再生する

Canon Log ガンマ (p.2) を【入】で撮影した動画をそのまま再生すると、暗くコントラストが低い画像に見えます。この場合は、ルックアップテーブル (LUT) を適用して再生すると、通常の表示に近い画像で確認することができます。

1 【LUT】 チェックボックスをチェックする



- Canon Log ガンマを【切】で撮影した動画の場合は、【LUT】チェックボックスにチェックすることはできません。

2 対象の動画を再生する

- 「クリップの再生」 (p.6) の操作を行います。
- LUT が適用された動画が再生されます。

 LUT チェックボックスのチェックマークの有無は、〈B〉キーを押して切り替えることもできます。

フルスクリーンで再生する

1 動画を再生する

- 「クリップの再生」 (p.6) の操作を行います。

2 メイン画面でメニューの【表示】 ▶ 【フルスクリーン表示】を選ぶ

- 再生中の動画がフルスクリーン表示されます。
- プレビュー画像をダブルクリックしても、フルスクリーン表示になります。
- フルスクリーン表示を解除するときは、〈Esc〉キーを押すか、プレビュー画像をダブルクリックします。

キーボード操作

キーボードで下記の操作ができます。

キー操作	操作内容
〈Space〉	再生／停止
〈←〉	コマ戻し
〈→〉	コマ送り
〈Home〉	先頭フレームに移動
〈End〉	最終フレームに移動
〈B〉	ルックアップテーブル (LUT) を有効／無効
〈L〉	再生
〈K〉	停止
〈S〉	再生速度を調整
〈V〉	表示モード (〔100% 表示〕 / 〔画面に合わせる〕) を切り替える

はじめに

目 次

準 備

基本画面

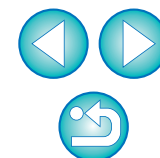
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



動画の表示サイズを切り替える

プレビューエリアに表示される動画に対して、【画面に合わせる】モードと、【100% 表示】モードのいずれかの表示方法を適用することができます。

メニューの【表示】▶【画面に合わせる】／【100% 表示】を選ぶ

→ 選んだ表示方法で、プレビューエリアに画像が表示されます。

【画面に合わせる】モード

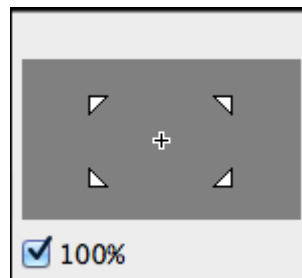


【100% 表示】モード



- 【画面に合わせる】モードでは、プレビューエリアに画像が収まるように表示されます。
- 【100% 表示】モードでは、プレビューエリアに 100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。
- コントロールエリアの【100%】チェックボックスをチェックすると、【100% 表示】モードになります。【100%】チェックボックスのチェックを外すと、【画面に合わせる】モードになります。
- 【100% 表示】モードで画像の表示位置を変えるときは、プレビューエリアの画像をドラッグします。

ガイドエリアの拡大表示位置



はじめに

目次

準備

基本画面

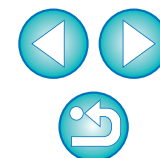
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



動画ファイルの情報を確認する

クリップの撮影情報を表示、確認することができます。

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト...】を選択する

→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、確認する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6)の手順1～2を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で撮影情報を表示したいクリップを選ぶ

3 メイン画面でメニューの【表示】▶【撮影情報...】を選ぶ

→撮影情報が【撮影情報】画面に表示されます。

撮影情報	
項目	値
ファイルサイズ	73.7 MB
動画圧縮形式	MPEG-4 AVC/H.264
動画圧縮率	高圧縮(IPB)
カメラ機種名	Canon EOS XXXX
カメラBody No.	XXXXXXXXXXXX
撮影日時	XX/XX/XX XX:XX:XX
画像サイズ	1920x1080 (スーパー35mmクロップ)
フレームレート	29.97
タイムコード形式	Drop frame
オーディオチャンネル	2 ch
オーディオレート	48 kHz
オーディオ型式	LPCM
レンズ	EF24-105mm f/4L IS USM
焦点距離	24.0 mm
Tv(シャッター速度)	1/80
Av(絞り数値)	16
ISO感度	10000
Canon Log	入
ホワイトバランス	色温度(5200K)

はじめに

目次

準備

基本画面

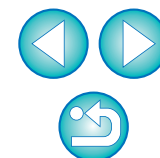
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



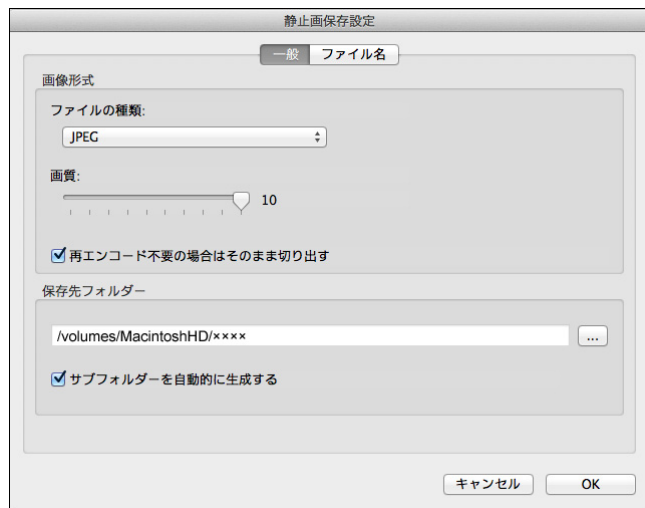
静止画として保存する

選択したクリップから、画像を静止画として取り出して保存することができます。

静止画の保存設定

あらかじめ静止画保存の設定を行います。

- 1 メイン画面で【ファイル】 ▶ 【静止画保存設定】 を選択する
→ 【静止画保存設定】 画面が表示されます。
- 2 【一般】 タブで、必要な設定を行う



- 【ファイルの種類】 はプルダウンで表示される型式から選択します。
【TIFF】 を選択すると、TIFF 非圧縮 8-bit RGB 形式で保存されます。
【JPEG】 を選択したとき、初期設定では【画質】 は最も高画質な状態に設定されています。
- 【画像形式】 の【ファイルの種類】 が【JPEG】 に設定されていて、
【再エンコードが不要の場合はそのまま切り出す】 チェックボックスにチェックが入っている場合、以下の条件のときは動画から静止画をそのまま切り出して保存します。チェックが入っていないときと比べて処理が高速になります。
 - ・ Canon LOG ガンマを【切】 で撮影した 4K 動画
 - ・ Canon LOG ガンマを【入】 で撮影した 4K 動画で LUT が適用されていないとき
- 【保存先フォルダー】 項目の【...】 ボタンを押すと、【フォルダーの参照】 画面が表示されるので、保存先にしたいフォルダを選択します。
- 【サブフォルダーを自動的に生成する】 チェックボックスをチェックすると、選んだ保存先フォルダにサブフォルダが生成され、静止画が保存されます。保存先フォルダに重複するファイル名のファイルがある場合にも、ファイル名を変更せずに保存することができます。

はじめに

目次

準備

基本画面

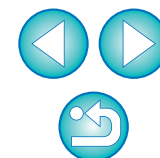
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



3 【ファイル名】タブで、必要な設定を行い【OK】ボタンを押す

→ 設定が完了します。

The screenshot shows the 'Still Image Save Settings' dialog box with the 'File Name' tab selected. The settings are as follows:

- ☒ ファイル名を変更する
新しいファイル名: CINE
- ☒ 静止画保存回数を付加する
静止画保存回数: 00005
- ☒ クリップ選択時にリセットする
- イメージシーケンス設定:
 - ☒ タイムコード
 - ☐ 連番

例: CINE_00005_HHMMSSFF.JPG

Buttons: キャンセル, OK

- 【ファイル名を変更する】チェックボックスにチェックが入っているときは、静止画ファイル名の入力、または変更が可能です。【新しいファイル名】欄に 30 文字以内で入力、または変更を行います。チェックボックスにチェックが入っていないときは、静止画のファイル名の変更はできません。ファイル名は元動画のクリップ名となります。
- 【静止画保存回数を付加する】チェックボックスにチェックが入っているときは、静止画の保存回数をファイル名に付加することができます。【静止画保存回数】欄に、ファイル名に付加する保存回数の開始番号を 0 ～ 99999 の範囲の数値で入力します。
- 【クリップ選択時にリセットする】チェックボックスにチェックが入っているときは、新たなクリップを選択したときに、【静止画保存回数】欄の保存回数数値がリセットされます。
- 【イメージシーケンス設定】項目の【タイムコード】を選択したときは、ファイル名の末尾にタイムコードが付加されます。また、【連番】を選択したときは、ファイル名の末尾に連番が付加されます。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

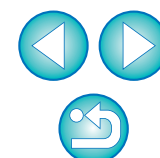
再 生

ファイル情報
確認

保 存

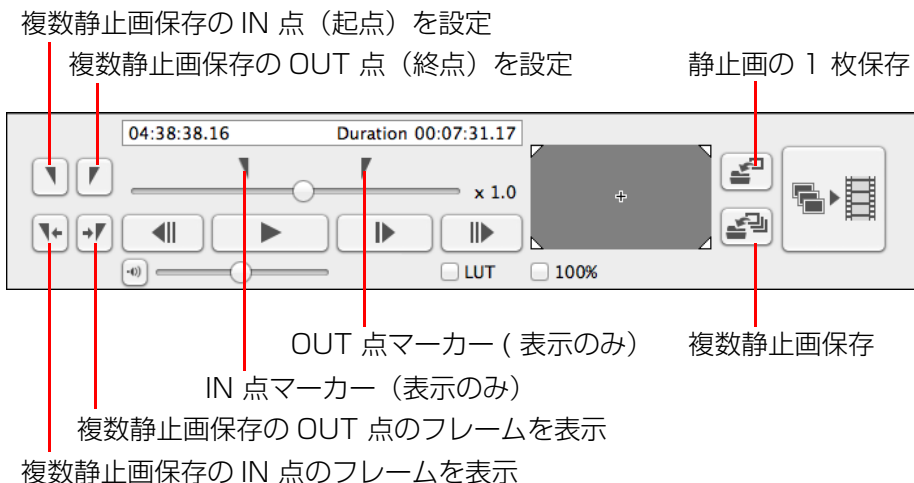
終 了

資 料



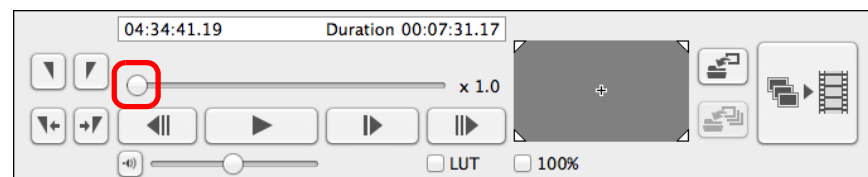
静止画保存時の操作

静止画保存時は、各種ボタンで下記の操作ができます。

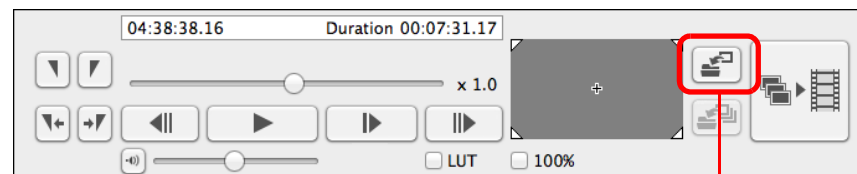


静止画の 1 枚保存

- 1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト】を選択する
→【クリップリスト】画面が表示されます。
- 2 【クリップリスト】画面でクリップを選ぶ
- 3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存したいフレームを表示させる



- 4 静止画保存ボタンを押す



静止画像保存ボタン

- 【静止画保存設定】画面で行った設定で保存が行われます。
- 動画再生中も静止画保存ボタンを押して、静止画を保存することができます。その場合は、動画再生を一時停止のうえ、停止位置のフレームが静止画として保存されます。



- 【LUT】チェックボックスをチェックすると、LUT が適用された状態で静止画を保存することができます。
- 付加される撮影情報のうち、焦点距離、シャッター速度、ISO 感度、ホワイトバランスについては、動画撮影開始時の値になりますが、撮影日時については、保存した静止画に対応した日時が計算され付加されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

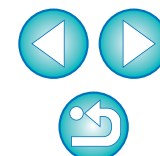
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



複数静止画保存

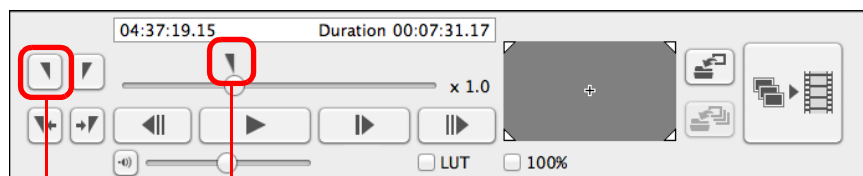
選択したクリップに対して、静止画を保存する範囲の指定を行い、指定範囲内の全フレームを静止画として保存することができます。

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト】を選択する

→【クリップリスト】画面が表示されます。

2 【クリップリスト】画面でクリップを選ぶ

3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存を開始したいフレームがきたら、IN 点設定ボタンを押す



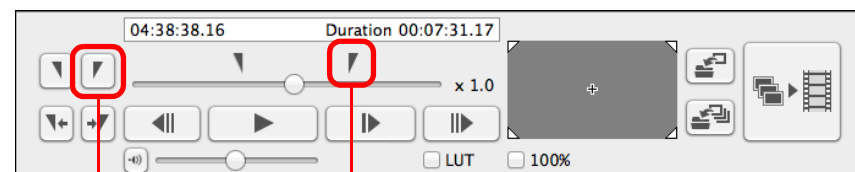
IN 点マーカー

IN 点設定ボタン

→ IN 点マーカーが表示され、保存の IN 点（起点）が設定されます。

- 動画再生中も IN 点設定ボタンを押して、IN 点を設定することができます。
- IN 点が設定されているときは、[◀]（IN 点へ移動）ボタンを押すと、IN 点のフレームが表示されます。IN 点が設定されていないときは、クリップの先頭のフレームが表示されます。動画再生中に [◀]（IN 点へ移動）ボタンを操作することもできます。

4 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存を終了させたいフレームがきたら、OUT 点設定ボタンを押す



OUT 点設定ボタン

OUT 点マーカー

→ OUT 点マーカーが表示され、保存の OUT 点（終点）が設定されます。

- 動画再生中も OUT 点設定ボタンを押して、OUT 点を設定することができます。
- OUT 点が設定されているときは、[▶]（OUT 点へ移動）ボタンを押すと、OUT 点のフレームが表示されます。OUT 点が設定されていないときは、クリップ末尾のフレームが表示されます。動画再生中に [▶]（OUT 点へ移動）ボタンを操作することもできます。
- IN 点と OUT 点の最大指定範囲は 1 時間です。

はじめに

目次

準備

基本画面

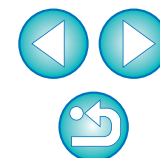
再生

ファイル情報
確認

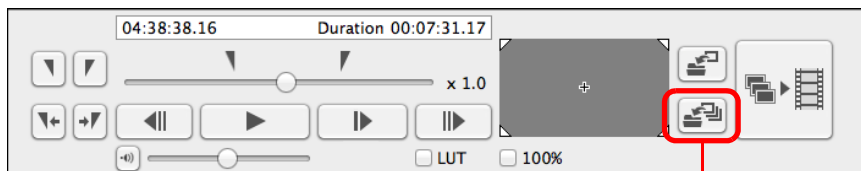
保存

終了

資料



5 複数静止画保存ボタンを押す



複数静止画保存
ボタン

→ **【静止画保存設定】** 画面で行った設定で、IN 点と OUT 点間の全フレームが静止画として保存されます。

● 動画再生中でも複数静止画保存ボタンを押して、複数静止画の保存を行うことができます。その場合は、動画再生が一時停止します。



● **【LUT】** チェックボックスをチェックすると、LUT が適用された状態で静止画を保存することができます。

● 付加される撮影情報のうち、焦点距離、シャッター速度、ISO 感度、ホワイトバランスについては、動画撮影開始時の値になりますが、撮影日時については、保存した静止画に対応した日時が計算され付加されます。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

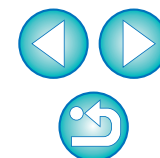
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



動画ファイルを結合保存する

EOS-1D C で動画を撮影すると、1 回の撮影でも 4GB ごとに動画ファイルが分割されて保存されます。当機能では、分割された動画ファイルを結合保存することができます。

クリップを構成する動画ファイルを確認する

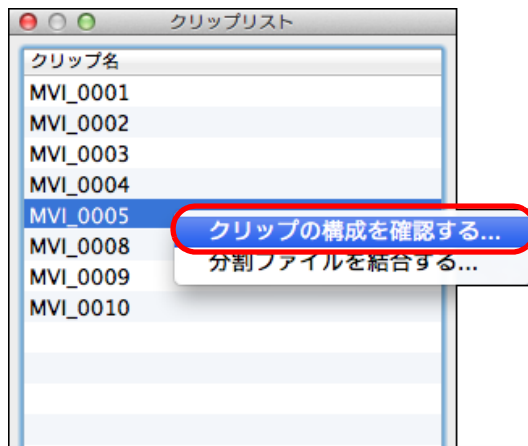
EMU では、分割された動画ファイルも 1 つのクリップとして表示されます。下記の操作で、分割された動画ファイルで構成されるクリップを調べることができます。

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト...】を選択する

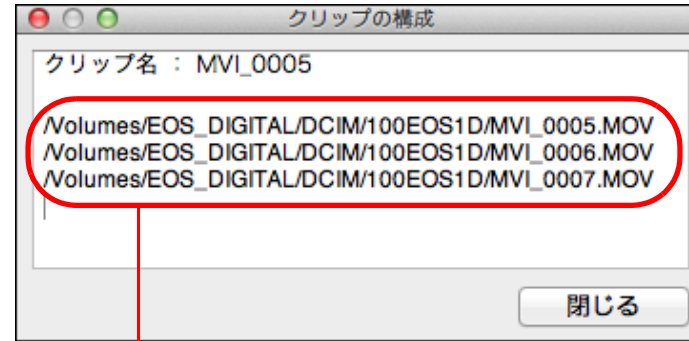
→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、確認するクリップが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6) の手順 1 ～ 2 を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で、構成を確認したいクリップを選択し、<control> + クリックして、表示されるメニューから【クリップの構成を確認する...】を選ぶ



→【クリップの構成】画面が表示されます。



クリップが分割された動画ファイルで構成される場合は、複数行で動画ファイル名が表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

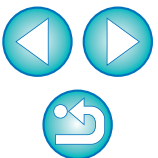
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料

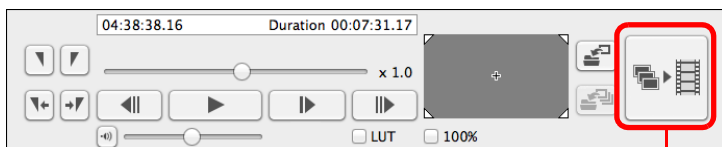


分割された動画ファイルを結合保存する

分割された動画ファイルで構成されているクリップは、下記の操作で動画ファイルの結合保存を行うことができます。なお、オリジナルの動画ファイルは元のフォルダにそのまま残ります。

フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する

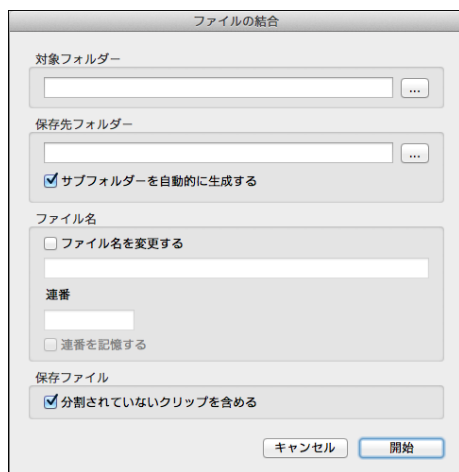
1 メイン画面の分割ファイル結合ボタンを押す



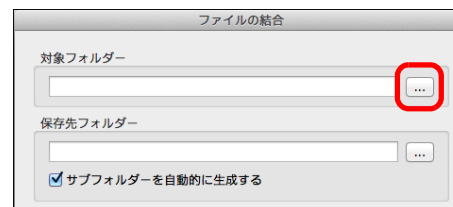
分割ファイル結合ボタン

→【ファイルの結合】画面が表示されます。

- メイン画面でメニューの【ツール】▶【分割ファイルの結合...】を選ぶことでも【ファイルの結合】画面を表示させることができます。



2 【対象フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合する動画ファイルが入っているフォルダを選ぶ



- 選択したフォルダに保存されている、すべての動画ファイルが対象となります。

はじめに

目次

準備

基本画面

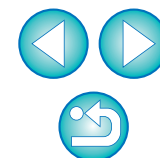
再生

ファイル情報
確認

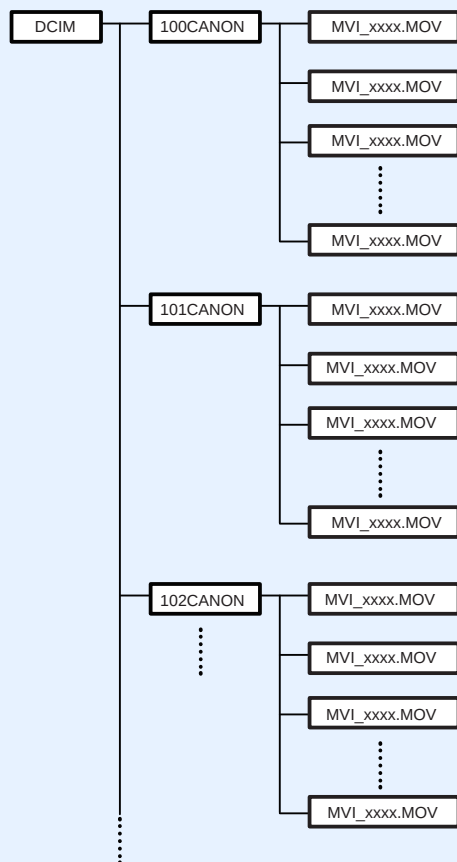
保存

終了

資料

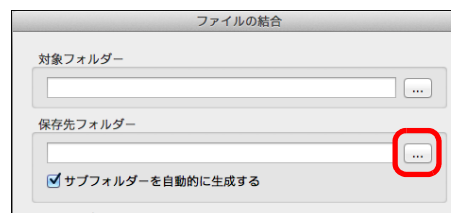


❗ カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。



当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、分割された動画ファイルが、正しく結合できない場合があります。「フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する」場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIMフォルダを選択してください。なお、フォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が「DCIM」と異なる名称に変更されていると、正しく結合ができない場合がありますのでご注意ください。

3 【保存先フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ



4 【開始】ボタンを押す



- 結合と保存が開始されます。
- 結合と保存が完了すると、メッセージが表示されます。



- **【サブフォルダーを自動的に生成する】** チェックボックスをチェックすると、手順3で選んだ保存先フォルダにサブフォルダが生成され、結合した動画ファイルが保存されます。保存先フォルダに重複するファイル名のファイルがある場合にも、ファイル名を変更せずに保存することができます。
- **【ファイル名を変更する】** チェックボックスをチェックすると、結合保存した動画のファイル名を変更できます。
- ファイル名に連番の番号を付けたい場合は、**【連番】**欄に開始番号を入力します。開始番号は5ケタまでの数字を入力することができます。**【連番を記憶する】** チェックボックスをチェックすると、**【ファイルの結合】**画面を閉じた後、ふたたび、同画面を表示して動画ファイルの結合保存を行う場合にも、連番を続けて付けることができます。
- **【分割されていないクリップを含める】** をチェックすると、手順2で選んだフォルダに保存されている動画ファイルのうち、分割されていない動画ファイルも合わせて保存先にコピーすることができます。

はじめに

目次

準備

基本画面

再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



1 クリップのみの分割された動画ファイルを結合保存する

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト...】を選ぶ

→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、結合する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6)の手順1～2を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で、結合保存したいクリップを選択し、<control> + クリックで、表示されるメニューから【分割ファイルを結合する...】を選ぶ

→【ファイルの結合】画面が表示されます。

3 【保存先フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ

4 【開始】ボタンを押す

→結合と保存が開始されます。

- 結合保存が完了すると、メッセージが表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

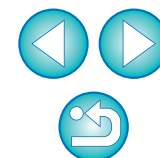
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



EMU を終了する

メイン画面でメニューの【EOS MOVIE Utility for EOS-1D C】▶【EOS MOVIE Utility を終了】を選ぶ

→ EMU が終了します。

資 料

こんなときは

EMU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にしてください。

EMU が動かない

- 動作環境 (p.2) に記載された RAM (メモリー) 容量をパソコンに搭載していても、EMU と共に他のソフトウェアを立ち上げていると、RAM (メモリー) が不足することがあります。EMU 以外のソフトウェアを終了してください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

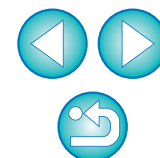
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、下記の例を参考にしてください。

メッセージ	原因と対処
選択されたパスにはフォルダーを作成できません。	保存先に指定したメモリーカードは書き込み禁止になっています。書き込み可能なカードを入れてください。
連番を入力してください。	連番が入力されていません。動画ファイルを結合するクリップが複数ある場合、連番の開始番号を入力してください。
保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。	保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。保存先を変更してください。
ファイルに付加する連番が不足します。	ファイル名に付ける連番が 99999 を超えています。連番に入力する数値を変更するか、ファイルの保存先を変更してください。
他のユーザーがすでに起動しています。	EOS MOVIE Utility を起動中のユーザーアカウントで Macintosh にログインして EOS MOVIE Utility を終了してから、起動し直してください。
出力先のファイルシステムが 4 GB 以上のファイルに非対応の可能性があります。続けますか？	保存先フォルダがあるドライブには、結合した動画ファイルを保存できない可能性があります。保存先のドライブのファイルシステムが 4GB 以上のファイルをサポートしていることを確認してください。
空き容量が不足したため、結合できませんでした。	保存先フォルダがあるドライブの空き容量が不足しています。空き容量を確保するか、保存先を変更して、結合処理をやり直してください。
結合処理に失敗しました。	保存先フォルダがあるか確認をしてください。保存先フォルダが外部ストレージの場合は、パソコンに正しく接続されているか確認をしてください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

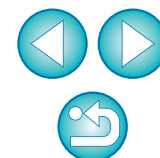
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



キーボードコントロール

キーの種類	
Space	再生／停止
→	コマ送り
←	コマ戻し
Shift+ →	複数静止画保存の OUT 点へ移動
Shift+ ←	複数静止画保存の IN 点へ移動
Home	先頭フレームに移動
End	最終フレームに移動
B	ルックアップテーブル [LUT] を有効／無効
L	再生
K	停止
S	再生速度を調整
V	表示サイズの切り替え
F	フルスクリーン表示
I	複数静止画保存の IN 点を設定
O	複数静止画保存の OUT 点を設定
Command+S	静止画の 1 枚保存
Command+T	複数静止画保存
D	フォルダ内のすべての分割された動画ファイルを結合保存

はじめに

目 次

準 備

基本画面

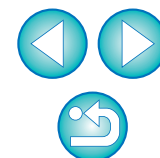
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、メニューの【Finder】 ▶ 【ゴミ箱を空にする ...】 を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- 【Canon Utilities】 フォルダを開きます。

2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの【Finder】 ▶ 【ゴミ箱を空にする ...】 を選ぶ

- ソフトウェアが削除されます。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

⚠ ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

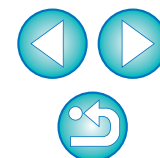
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90006

受付時間：平日 9：00 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00

（土曜・日曜・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます）

CINEMA EOS SYSTEM サイトのご案内

キヤノン CINEMA EOS SYSTEM のホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/cinema-eos

はじめに

目 次

準 備

基本画面

再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料

